

レジメン番号	0030	レジメン名	DLd 療法 7 サイクル以降
登録診療科	血液・腫瘍内科	使用薬剤	ダラザレックス、レブラミド、デキサート/レナデックス
がん腫	多発性骨髄腫	インターバル日数	28 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者 投与量	Day1 (/)	Day2 (/)	...	Day8~14 (/ ~ /)	Day15~21 (/ ~ /)	Day22~28 (/ ~ /)	4 週間を 1 コース
ダラザレックス 16mg/kg	点滴	mg	↓						
レブラミド 25mg/日 ※1	経口	mg	↓	↓	↓	↓	↓		
デキサート/ レナデックス 20mg/日	点滴 または 経口	mg	↓	↓ (経口)					
レナデックス 40mg/週 ※2	経口	mg				↓	↓	↓	

(支持療法)

※3 Day1 経口剤あり

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
① ダラザレックス	100mg	生食 500ml	※4 下記参照/輸注ポンプ
	400mg		
② デキサート	3.3mg	生食 100ml	15 分/点滴
③ 生食	500ml		メインルート/持続(50ml/h)



②は①投与 1~3 時間前までに投与終了

【備考】

※1 レブラミドは毒性に応じて調節

CLcr が 60ml/min を超える患者には 25mg を、30~60ml/min の患者には 10mg 投与

※2 Day8~14、15~21、22~28 にデキサメタゾン (レナデックス) 40mg/週を経口投与 (1~2 回に分割)

75 歳を超える又は過少体重 (BMI : 18.5kg/m²未満) の患者にはデキサメタゾンを 20mg/週で投与可

※3 ダラザレックス投与 1~3 時間前に、解熱鎮痛剤 (アセトアミノフェン 1000mg) 及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※4 ダラザレックス投与速度

投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度 (ml/h)			
		0~1 時間	1~2 時間	2~3 時間	3 時間以降
3 回目投与以降	500ml	100 ^{注1}	150	200	

注 1 : 初回及び 2 回目投与時に最終速度が 100ml/h 以上で infusion reaction が認められなかった場合、100ml/h から開始することができる。